

報道資料

平成 29 年 11 月 16 日

| | |
|---------|---|
| 1 件 名 | —「おいしさ」の秘密を科学で解明!?!— 未来の山口の授業 ^{ベータ} β (開発版)「 ^{クックハック} COOKHACK」 |
| 2 日 時 | 2017年12月2日(土) / 13:00~16:00 3日(日) / 13:00~16:00 |
| 3 場 所 | 山口情報芸術センター [YCAM] レストラン・スペース |
| 4 内 容 | <p>山口情報芸術センター [YCAM] では、「未来の山口の授業^{ベータ}β (開発版)」と題して、近年の研究をもとにYCAMで開発中の教育プログラムに触れるトライアルワークショップを週末を中心に実施しています。</p> <p>12月2日(土)・3日(日)に体験できるワークショップは、「^{クックハック}COOKHACK」。料理を食べる時に感じる「おいしい」という感覚は、舌だけでなく、身体のような機能のはたらきによるものです。そういった味覚の原理を知り、実際に調理・試食を繰り返しながら、私たちが普段何気なくおこなっている「料理」や「おいしさ」の概念を学んでいきます。</p> <p>クックハック 「COOKHACK」開催概要</p> <p>期間：12月2日(土) 13:00~16:00 3日(日) 13:00~16:00 会場：YCAM レストラン・スペース 料金：無料 対象：小学4年生以上 定員：各回10名 <u>※満席です</u> 講師：YCAM教育普及チーム 協力：津田 多江子 (栄養士) 秋山 慶太 (デザイナー)</p>  <p>▲過去のワークショップの様子 (2015)</p> <p>▶「^{クックハック}COOKHACK」とは？ 2015年に開催された、これからの「食べる」について考えるレクチャーシリーズ「アグリ・バイオ・キッチン『食べる』のリテラシー」を小学生でも体験できる仕様に改良した2部構成のワークショップです。まずは用意されたスープをオリジナルのボトルを用いて再現し、普段意識しない味覚の力を解きほぐします。その後、科学の実験が仮説と検証を繰り返すように、調理法・熱・時間を軸に細かく食材を変化させ「味覚」の曖昧さを解き明かしていきます。</p> <p>▶「未来の山口の授業」とは？ メディア・テクノロジーの応用に関するYCAMの豊富な知見を活かして、地域の連携のもと、小中学校で実施可能な教育プログラムの開発をおこなうとともに、次世代に向けた新たな教育モデルとして全国に発信していく活動を、2017年度から「未来の山口の授業」と名付けています。</p> <p>是非この機会にご取材、ご掲載いただけますようお願いいたします。</p> |
| 5 問い合わせ | 山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課 (担当：青柳・岡崎・橋本) TEL:083-901-2222 / FAX:083-901-2216 メールアドレス： press@ycam.jp |